

# HITO NEWS

HITO  
M E D I C A L  
C E N T E R  
N E W S

2018.1  
No.16

新年ごあいさつ

特集① 絆プロジェクト始動！

特集② 循環器内科「不整脈とアブレーション治療」

特集③ 人工関節センター「ナビゲーションの活用で正確な手術を」

特集④ 形成外科「がんに見えない皮膚がん」

特集⑤ 補聴器専門外来

脳血管障害に対する専門治療の強化

TOPICS



明日も、笑顔で

積み重ねた5年間

さらに進化し

地域とともに歩みます



謹んで新春のお慶びを申し上げます。地域の皆さまに支えられ、HITO病院は6年目の春を迎えます。この5年、地域の皆さまが安心して専門的な医療を受けられるようセンター化並びにチーム医療の強化を行うとともに、地域に必要とされる医療機能の強化に努めて参りました。

特に昨年は、耳鼻咽喉科の開設、衙内CT導入による低侵襲手術、未来創出HITOプロジェクトによるICTの利活用、統合型歩行機能回復センターによる「歩くを支える」等に取り組みました。6年目を迎える今年は、診療報酬・介護報酬改定等、医療を取り巻く環境が一変する激動の年です。私たちの病院にとっても、これまで

5年間積み重ねてきたものを進化させる年であり、同時に真価が問われる年だと思っています。

また、病院完結型から地域完結型を目指す地域包括ケアシステムの構築においては、地域のケアマネジャー、介護施設・在宅サービス等との連携をさらに強化していきます。

医療度の高い患者さまの退院後一ヶ月以内の在宅復帰を支え、地域の先生方に安心して在宅診療の移行ができるよう、医師・看護師をはじめとした多職種のメディカルスタッフチームから成る「地域包括ケアステーション」の開設を予定しています。

さらに、新専門医制度のもと、総合診療専門医の後期研修を開始し、地域特性を理解して、地域に貢献できる医師を当院で育成・輩出することを目指しています。

地域の皆さまが住み慣れた町で安心して暮らせるよう、地域包括ケアシステムの実現に向け、医療・介護の連携はもちろんのこと、市民や開業医の先生方、医療機関・行政機関との関係をさらに深めていくため、「絆プロジェクト」(次ページ参照)を立ち上げ、連携強化に取り組んで参ります。今後も地域に無くてはならない病院として、地域とともに歩んで参ります。

特集①

# 絆 KIZUNA

## プロジェクト始動!

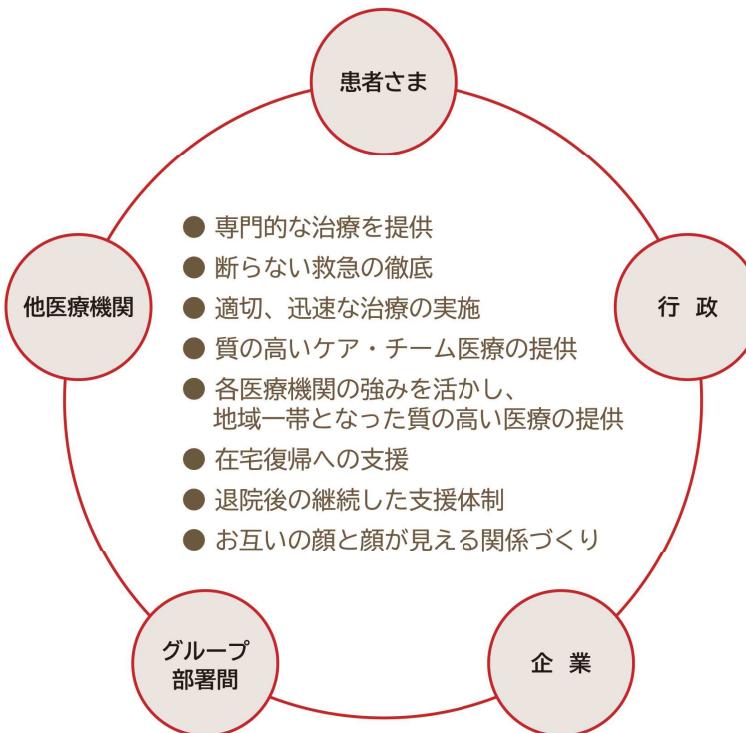
— 地域包括ケアシステム推進を目指し、地域と医療を絆で結ぶ —

### 絆プロジェクトとは

患者さまが住み慣れた地域で末永く暮らすために、最適な医療が提供でき、未病・予防・健康増進が図れる「地域包括ケアシステム」の推進が必要です。

四国中央市で当院が地域包括ケアシステムを支える一員として市民(患者さま)、行政、医療機関や開業医の先生方・企業等々と絆を深めていくために、この1月より『絆プロジェクト』を開始いたしました。

住み慣れた町で末永く暮らし続けるために  
地域の絆を紡いでいく



プロジェクトでは、紹介患者さまや救急搬送を断ることなく受け入れ、かかりつけ医との連携を深めることや行政や医療機関等と顔が見える関係を築くなど、様々な取り組みを実施していくながら、地域との絆を結んでいきます。

HITO病院では、ご近所にもかかりつけ医を持つ「2人主治医」制をお勧めしております。

ご近所の「かかりつけ医」より紹介いただき、当院にて専門的治療を行います。  
状態が安定した後は、「かかりつけ医」で健康管理をしていきます。

## 2人の主治医でいきるを支えます



### HITO病院

#### 高度な医療技術や 医療サービス

HITO病院は、四国中央市の

中核病院として、25の診療科目と

14の専門外来を有しています。

#### [紹介]



協力し合う医療体制  
地域医療連携

#### [逆紹介]

病状が安定したら  
かかりつけ医へ

2次救急病院として24時間体制で救急診療を行い、高度な医療技術や医療サービスの提供を担当します。  
また、当院は4疾患対応病院であり、高度化・複雑化する医療に対応していきます。

# 不整脈とアブレーシヨン治療

特集② 循環器内科 心臓の検査と治療のお話



### 地域の医療機関

#### 継続的な健康管理と 軽い病気の治療

患者さまの病状が安定すると  
地域の医療機関（かかりつけ医）で  
治療します。

月に一度の診療で継続的な  
健康管理を行い、風邪や腹痛  
など日常的な病気を診ます。  
患者さまの些細な変化にも  
気づきます。その際、専門的な  
検査や入院で当院へご紹介  
いただきます。

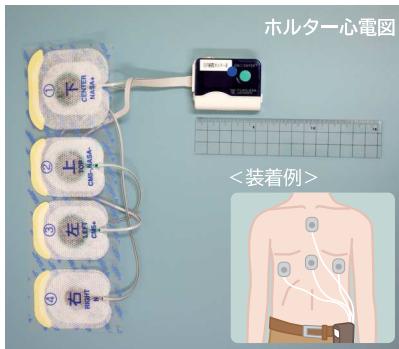


副院長  
循環器内科 部長  
いとう あきら  
伊藤 彰

日本循環器学会専門医  
日本心血管カテーテル治療学会専門医  
日本心血管内視鏡専門医 他

### 元気な人でも起こる不整脈

元気な人でも年をとるにつれて脈が  
不規則になる期外収縮（不整脈の一種）  
が多くの方に認められるようになります。  
期外収縮は、他の心臓病に関連して  
起ることもあります。  
また、心房細動は放置しておくと脳梗  
塞や心不全を起こすことがあります。危険です。

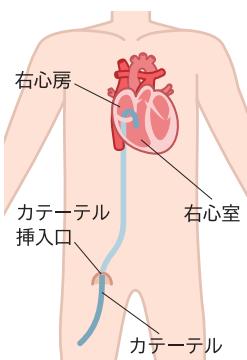


左のようないくつかの装置を装着し、1日  
(24時間)経過後に来院して取り外す  
だけの検査です。  
入浴など少し制限はありますが、  
日常生活を送りながら検査できます。

ホルター心電図検査は、「脈の乱れ」  
「胸の痛み」「動悸」などの原因を調べる  
検査です。

### 不整脈の治療 アブレーション治療

アブレーション（ablation）とは、  
「取り除くこと、切除すること」という  
意味で、アブレーション治療は、心臓の



拍動リズムに異常を来して脈拍数が  
多くなる「頻脈性不整脈（ひんみやくせい  
ふせいみやく）」という病気に対し、根本  
的に治療する方法です。  
足の付け根などの太い血管から  
カテーテルを入れて、心臓内部の不整脈の  
原因となっている部分を小さく高周波  
電流で焼き切れます。  
当院でも昨年9月からこの治療ができるようになりました。

● 循環器内科	
	午前
月	伊藤 彰
火	伊藤 彰
水	伊藤 彰
木	山崎 宙
金	伊藤 彰
土	山崎 宙 (第1・3)

<ご予約(サポートセンター)>  
**0896-58-2226**

### 絆カードの運用を開始しました

かかりつけ医へ紹介した後でも、絆カードをご提示いただくと  
HITO病院へスムーズに受診ができます。  
救急車にて受診される際も、絆カードをご提示下さい。



HITO病院は地域のかかりつけ医の先生と共に患者さまのいきるを支えます

<お問い合わせ> 地域医療介護連携課 **0896-29-5704**

# ナビゲーションの活用で正確な手術を



人工関節センター長  
整形外科部長  
ましま 間島 直彦  
日本整形外科学会専門医  
日本骨粗鬆症学会認定医  
日本体育協会公認スポーツドクター

## 正確な手術を行うために 人工関節専用システムを活用

当院の人工関節センターでは、股関節・膝関節の人工関節手術を行っています。

人工関節手術は、他の治療方法に比べて原則、短期間で痛みをとる効果に優れた手術方法といえます。

人工関節置換術を受けることによるメリットは、

- ① 関節痛のない生活が送れる
- ② 正常な歩容、歩行能力が獲得できる
- ③ 生活に必要な関節可動域が得られる
- ④ 早期に社会復帰できる
- ⑤ 不安のない術後生活が送れる

などが挙げられます。

当院では、人工股関節置換術における確実な治療と早期の社会復帰、不安のない術後生活を目指して次のことを行っています。

3次元手術計画システムを用いた術前シミュレーション

変形の程度や骨の強さに合わせた最適なインプラントの選択

術中コンピューターナビゲーションシステムを用いた正確な手術

筋肉や腱を切離しない最小侵襲手術(MIS)

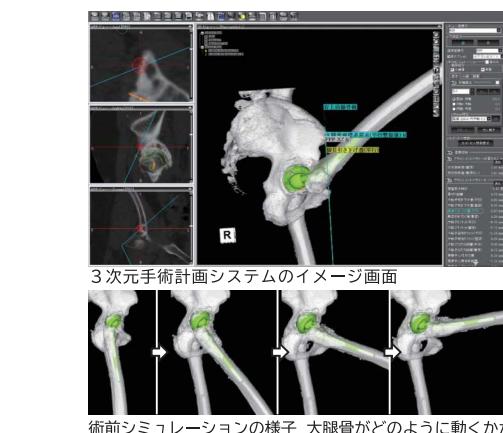
可能な限り自己血輸血を実施

徹底したリハビリテーション

自宅退院まで繋がる十分な術前シミュレーション

全症例に対し3次元手術計画システムを用いた十分な術前シミュレーション

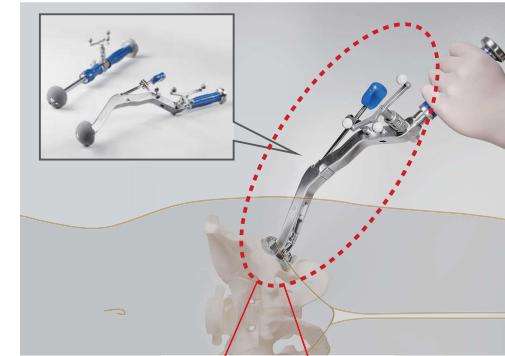
正確な手術を実施するためには、手術前のシミュレーションも非常に重要です。当院では、術前シミュレーションに「3次元手術計画システム」



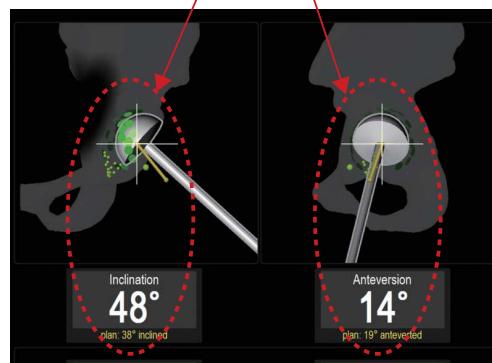
## 術中コンピューター ナビゲーションシステムを使用し 正確な手術を実施

術後の回復や耐用年数の延伸のためには、人工関節を術前の計画通りに正確な位置へ入れることが重要です。

当院では、人工関節の設置位置について、術前計画からの誤差を最小限に抑えるために「術中コンピューター ナビゲーションシステム」(以下ナビゲーション装置とする)を活用し、手術に最適な環境を整えています。



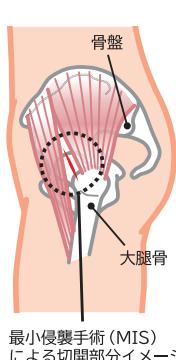
ナビゲーション装置を用いた手術では、このような道具を使って人工関節を骨盤などに当て込みます



装置のモニターには、関節へ当て込む角度が表示されその角度調整で精度の高い手術を実施します

人工関節センターに関するご予約・お問合せはサポートセンターへお電話ください  
<直通電話番号>  
**0896-58-2226**

※「人工関節センターのご予約・お問合せ」とお伝えください



最小侵襲手術(MIS)  
による切開部分イメージ

## 筋肉や腱を切離しない 最小侵襲手術(MIS)も実施

術後の痛みの軽減や、術後早期のリハビリテーションを可能とし、早期の筋力回復や歩行能力の獲得、早期の社会復帰を目指して、MIS(最小侵襲手術)を行っています。当院のMISは、股関節の前外側、中殿筋と大腿筋膜筋筋肉から進入し、できる限り筋肉を損傷しないアプローチです。

筋肉を切離しないため、術後早期から正常な股関節の動きが可能となり、痛みも少なくかつ機能回復も良好です。

また、外側と後方の筋肉を残すことにより脱臼しにくく、早期から歩行が可能になります。

筋肉を切離しないため、術後早期から正常な股関節の動きが可能となり、痛みも少なくかつ機能回復も良好です。

また、外側と後方の筋肉を残すことにより脱臼しにくく、早期から歩行が可能になります。

を活用しています。患者さまのCTデータを読み込んで、設置する人工関節が実際にどのように骨盤や骨などを接するのか、設置する角度や骨の接觸具合などを3次元的に見ながらシミュレーションすることができます。さらに、骨と骨の接觸度や足の曲げ伸ばしが数値や3次元画像で視覚的にわかるため、十分なシミュレーションを行うことができ、次に紹介する「術中コンピューターナビゲーションシステム」を最大限活用することができます。

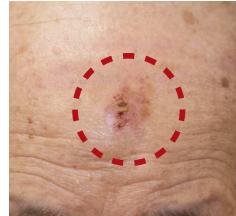
術中コンピューターナビゲーションシステム

# がんに見えない皮膚がん

## シミのような日光角化症



形成外科 医長  
創傷ケアセンター長  
美容外科 医師  
よねだ たけし  
米田 武史  
日本形成外科学会、日本褥瘡学会  
日本創傷外科学会



シミと間違われやすい  
皮膚がんの「日光角化症」

皮膚がんには、左の写真のように、一見すると普通のシミや、湿疹、ほくろと区別の付かないものがあります。ここではそのいくつかについて特徴を紹介しますが、気になつたら少しでも早く、診察や検査を受けてください。

## かゆくない

● 湿疹用の塗り薬が効かない

● 数ヶ月以上消えず、大きくなっている

## ほくろのような基底細胞がん

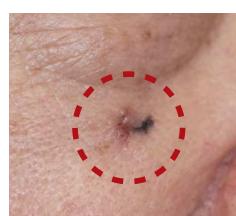
「基底細胞がん」は、初期にはほくろのように見えます。毛髪に関係する頭部にできた場合には、毛髪部も切除しなければなりませんが、左写真のようになるべく術後の見た目も考慮した手術を行います。



湿疹と間違われやすい  
皮膚がんの「ボーエン病」

## 湿疹のようなボーエン病

「ボーエン病」は、赤い色をしていて、一見湿疹に見えますが、次のような場合は一度検査を受けましょう。



ほくろと間違われやすい  
皮膚がんの「基底細胞がん」



形成外科 医長  
創傷ケアセンター長  
美容外科 医師  
よねだ たけし  
米田 武史  
日本形成外科学会、日本褥瘡学会  
日本創傷外科学会



形成外科 医長  
創傷ケアセンター長  
美容外科 医師  
よねだ たけし  
米田 武史  
日本形成外科学会、日本褥瘡学会  
日本創傷外科学会

# 補聴器専門外来について

## 特集⑤ 耳鼻咽喉科 補聴器のお話



耳鼻咽喉科 医長  
たかぎ だいき  
高木 大樹  
日本耳鼻咽喉科学会専門医  
補聴器相談医

### 補聴器専門外来について

補聴器専門外来では、難聴の患者さまにより良い「きこえ」を提供するため補聴器の処方を行っています。まず外来で患者さまの聞こえの状態を正確に評価します。補聴器店のスタッフにも来院してもらい、出来るだけ希望に沿えるような補聴器を調整していきます。既に補聴器を購入された方に対しても定期的な検査を行いながら適時再調整を行っています。

補聴器専門外来では、難聴の患者さまにより良い「きこえ」を提供するため補聴器の処方を行っています。まず外来で患者さまの聞こえの状態を正確に評価します。補聴器店のスタッフにも来院してもらい、出来るだけ希望に沿えるような補聴器を調整していきます。既に補聴器を購入された方に対しても定期的な検査を行いながら適時再調整を行っています。



### 「病院」だから出来ること

会話を加わりにくく」といった方には補聴器をお勧めします。近年の疫学研究では、難聴によるコミュニケーション能力の低下へとつながることが分かつてきました。補聴器によって得られる「きこえ」の改善は、その人の人生にとっても大きなプラスになることもあります。お試し期間もありますのでお気軽に相談ください。



### 意外と知らない 補聴器のあれこれ

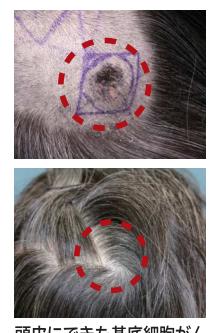
インターネットなどで販売している「補聴器のような」ものは集音器と呼ばれ、補聴器とは別物です。集音器が単に音を增幅するだけであるのに対し、補聴器は必要な音だけを聞こえやすくするように様々な機能が付いています。高度難聴の方は身体障害者手帳を利用することで、補聴器購入の助成が受けられることがあります。詳しくは、耳鼻咽喉科までご相談ください。

● 補聴器専門外来	
	14:00~17:00
月	-
火	-
水	-
木	-
金	高木 大樹
土	-

<ご予約(サポートセンター)>  
0896-58-2226

● 形成外科	
	午前
月	大川 勝正
火	中西 秀樹
水	米田 武史
木	米田 武史
金	大川 勝正
土	米田 武史 (第1・3)

<ご予約(サポートセンター)>  
0896-58-2226



頭皮にできた基底細胞がん  
毛髪を考慮して手術実施

# 脳血管障害に対する専門治療の強化

## 新任医師紹介



徳島大学 脳神経外科 教授  
たかぎ 康志

- ・脳動脈奇形
- ・もやもや病
- ・脳動脈瘤などの難治脳血管障害の外科治療

診療時間
毎月第3・5水曜日 午前 9時～12時



脳神経外科 医師  
おかもと しげたか  
岡本 薫学  
(非常勤)

- ・脳動脈瘤
- ・頸動脈狭窄症
- ・脳動脈奇形
- ・硬膜動脈瘤
- ・急性脳血管閉塞などの血管内治療

診療時間
毎週火曜日 午前 9時～12時

専門分野	資格
脳神経外科全般、脳血管障害	医学博士、日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会専門医
日本脳神経血管内治療学会指導医	日本脳卒中外科学会技術指導医

## 「血管内治療の長所」

開頭しなくても治療ができ、入院期間が短かく身体への影響が少ないことがあげられます。



「くるみん」マークを  
取得しました！

地域医療連携懇話会を行いました。

## 地域医療連携懇話会を行いました。

11月2日(木)に、第5回地域医療連携懇話会を行いました。この懇話会はHITO

病院開院時より継続して行っているもので、地域の医療機関の医師やメディカルスタッフ等にお集まりいただき、お互いに親睦を深め、連携強化につなげるための取り組みです。今回は、市内外の医療機関や行政等合わせて60名の方がご参加ください、今後の連携体制に対する前向きな意見も聞くことができました。また、当院に今年度新たに入職された医師の紹介も行い、他院の先生方からも歓迎していただきました。盛会裏に終えられましたが安心して暮らせる地域づくりを行っていきます。



## 駅伝部「HITO病院AAC」 大会5連覇達成！

12月3日(日)、第14回四国中央市駅伝競走大会が開催され、当院からは男女計3チームが出場し、健脚を競いました。

平成25年の第10回大会への初参加から今回で5回目の出場となる駅伝部ですが、今年もエースぞろいのAチームが一般男子の部で1位を飾り、見事5連覇を成し遂げました！結成当初は寄せ集め感のあったチームにも、絶対王者の風格が表れてきたような気がします。来年もまた頑張りますので、応援よろしくお願いします！

当院では産前産後休暇・育児休暇共に100%取得することができ、さらに附属保育所も備えているので、復帰した後も子ども近くで働くことができ安心です。また希望があれば男性でも育児休業を取得することができます。スタッフの皆さん、子育ても仕事も同じように大切にしてもらいたい、という思いからの取り組みです。

2017年認定  
くるみんマーク  
サポートしています



地域医療の現場においてもエキスパートの診療が受けられる機会です。

下記の症状でお困りの方は、<当院サポートセンター>0896-29-5320までお問い合わせください。

- 脳ドックなどで未破裂脳動脈瘤や頸動脈狭窄を指摘された方
- 耳鳴りや頭痛、目の充血、眼球突出などの症状があり、耳鼻科や眼科で硬膜動脈瘤が疑われた方



脳神経外科 医師  
おざき さや  
尾崎 沙耶  
(非常勤)

モットー	患者さま第一
患者さまに一言	患者さま第一を目指して診療を行っていきます。



外科 医師  
はが けいすけ  
垣生 恭佑

新任医師紹介